

第1章 聖徳グループ保育理念

評価基準

A. はい

B. いいえ

C. 該当なし

		項目	ページ	評価	評価・課題
第1章	聖徳グループ保育理念	園の保育理念や基本方針 真宗保育の理念 聖徳グループ職員という意識 職務分担	1~10	A	各職員にステートメントブックが配布され、いつでも内容の確認が出来る。必要に応じて園内会議で確認を行っている。各自、聖徳の職員の一人という意識を持ち、協力し合えるようにしていった。

第2章 総則

		項目	ページ	評価	評価・課題
第2章 総則	① 保育所保育に関する基本原則	保育所保育に関する基本原則 ・ 保育所の役割 ・ 保育の目標 ・ 保育の方法 ・ 保育環境 ・ 保育所の社会的責任	11~22	A	定期的にステートメントブックの読み合わせなどを行い、保育園の使命や理念等について職員間で共有と意識をして行った。
	② 養護に関する基本的事項	養護に関する基本的事項 ・ 養護の理念 ・ 生命の保持 ・ 情緒の安定	23~35	A	子ども一人ひとりの発達状況や保育目標についての記録、又、園独自の養護個別記録があり、それに基づいてサービスの提供を進めていった。
	保育の計画及び評価	・ 全体的な計画の作成 ・ 指導計画の展開 ・ 保育内容等の評価 ・ 評価を踏まえた計画の改善	36~41	A	クラス担任、主任、園長を経て、全体会議や主任研修、園長主任会議を通じて定期的に評価や見直しをしている。
	保育の計画及び評価	保育の内容 ① 保育の環境	42~50	A	モンテッソーリ教具に自主的に触れることができる環境は整っている。その他の時間は、子ども達が玩具等を自由に手に取り遊ぶ機会が少ないように感じる。
		保育の内容 ② 乳児保育	51~72	A	一人ひとりの状況に応じて、家庭と連携を図りながら関わっている。
		保育の内容 ③ 長時間保育	73~78	A	好きなことをしてゆっくり過ごせる時間と空間の提供と子ども達一人ひとりが安心して保護者のお迎えを持つことができるよう努めた。
		保育の内容 ④ 障害がある子どもの保育	79~89	A	キャリアアップ研修・行政研修で学んだ内容を職員間で情報共有を行ったり、専門機関に相談するなど積極的に取り組むよう努めた。
		保育の内容 ⑤ 子どもの人権	90~96	A	保育理念や基本方針に子どもの人権の尊重やプライバシー保護についてを明示している。規定やマニュアルに沿って実施している。

第3章 保育の内容

		項目	ページ	評価	評価・課題
		乳幼児期に関わるねらいと内容	97~112	A	一人一人の生活リズムに合わせ、静かな空間を確保しながら、継続的な関わりが保てるよう配慮している。

第3章 保育の内容	保育の内容 ねらい	教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ① 健康	113～125	A	一人ひとりの子どもの思いや気持ちを 受け止め関わられるように努めた。個々 が安心して過ごせるよう、環境や雰囲気 作りを考慮しながら保育を行ってき た。日々の体調に応じて臨機応変に関 わりながら保育を進めていった。
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ② 人間関係	126～142	A	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ③ 環境	143～158	A	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ④ 言葉	159～177	A	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ⑤ 表現	178～190	A	
		教育 3歳以上児保育 ① 健康	191～203	A	一人ひとりの子どもの思いや気持ちを 受け止め関わられるようにしたり、各々 が あり のまの姿で安心して園生活が 過ごせるよう、職員間で話し合い環境 構成や雰囲気作りに考慮しながら保育 を進めた。子ども達の日々の体調を把 握し、個々の様子を見ながら管理に努 め、関わっていった。
		教育 3歳以上児保育 ② 人間関係	204～220	A	
		教育 3歳以上児保育 ③ 環境	221～236	A	
		教育 3歳以上児保育 ④ 言葉	237～255	A	
		教育 3歳以上児保育 ⑤ 表現	256～268	A	
	保育の内容 の留意事項	① 保育課程	269～273	A	内容の理解はしており、説明することがで きる。
		② 指導計画 策定	274～291	A	全体計画に基づき、各年齢の子ども達の発 達や興味関心等を把握し、計画の作成を行 う。職員同士、情報の共有を行いながら作 成に努めることができた。
		小学校との連携	292～300	A	小学校の毎月のおたより等から情報確認を 行った。交流の機会は持てなかった為、今 後は交流の場や、情報交換が行える場を積 極的に設けられるよう進めていきたい。
		保育内容の自己評価	301～309	A	自己評価を実施し、職員会議等で話し合い、自 分達の保育等を振り返る良い機会となってい る。評価を分析し、課題を明確にしていく。

第4章 健康及び安全

		項目	番号	評価	評価・課題
第4章 健康及び 安全	子どもの 健康支援	子どもの健康支援	310～321	A	健康診断の結果は個別に保護者に伝達、又、職 員間でも会議で情報の共有を行う。保護者と は、送迎時や面談を利用し、こまめに子ども達 に関する内容の連携を図る。
	食育の 推進	食育の推進	322～335	A	季節の野菜を栽培や世話をしながら、命の大 切さを感じたり成長を喜んだり、子ども達の食 べる意欲にも繋げることができた。
	環境及び 衛生管理	環境及び衛生管理	336～341	A	感染症・暑さ対策等を家庭とも共通理解しなが ら保育を行っていった。
	災害への	・安全管理	342～349	A	毎月の避難訓練・防犯訓練を計画的に行い、ま た、備蓄品の点検、リクエ、おたよりにて保護者

	備え	・災害への備え	342～343	A	に備蓄の点検・ルグミーおたよりによる保護者への連絡も訓練を行っていった。
--	----	---------	---------	---	--------------------------------------

第5章 保護者に対する支援

		項目	番号	評価	評価・課題
第5章 保護者に対する 支援	入所している保護者に対する支援	保育園に入所している子どもの保護者に対する支援	350～361	A	朝夕の送迎時など必ず声を掛けたり、保護者の方が気兼ねなく相談等をしやすい環境作りに努めていった。
	地域における子育て支援	地域における子育て支援	362～365	A	把握したニーズに基づき、自主事業で行っている。ともランドの利用者に、園での一時保育を知らせ、利用等に繋がるように努めた。又、利用保護者が悩みことがあれば、話を聞くなど相談にも乗る。
	地域や関係機関との連携	地域や関係機関との連携	366～371	A	関係機関との関係性を改めて学んだり、積極的に連携を図り保育に活かすことができた。

第6章 職員の資質向上

		項目	番号	評価	評価・課題
第6章 職員の 資質向上	職員の 資質向上	・職員の資質向上 ・職員の研修 ・研修の実施体制	372～385	A	オンラインの研修が増え、キャリアアップ研修も全員が受講できた。園内研修も計画的に実施し、職員間で保育内容等の共通化を図り、保育の振り返りの機会を多く持つようにし、個々の質の向上に努めた。

【園全体の評価】

- ①保育所保育指針を、再度読み込み中で、目指す子ども像や保育の意味を明確にし、共通化を図ることで、自分のクラスだけでなく園全体で保育に当たる意識を子ども達一人一人に目を向け、子どもと保護者を支えていく体制を整えた。
- ②行事や日々の保育の振り返りを大切に、改善を行った。・園研・外部研修などに積極的に参加し、環境の在り方や保育の質の向上について学びを深めた。③職員間の連携強化を図り、互いが尊重しあえる快適な職場環境を構築した。

【来年度の課題】

- ①保育所保育指針を再度読み、目指す子ども像や保育の意味を明確にし、共通化を図り自分のクラスだけでなく園全体で保育に当たる意識を子ども達一人一人に目を向け、子どもと保護者を支えていく体制を整えたが、職員の理解にバラつきが見られた。
- ②行事や日々の保育の振り返りを大切に、改善を行った。・園研・外部研修などに積極的に参加し、環境の在り方や保育の質の向上について学びを深めたが、職員の成長に差があったため、見直しが必要である。
- ③職員間の連携強化を図り、互いが尊重しあえる快適な職場環境の構築が出来ているが、継続して取組む必要がある。

社会福祉法人聖徳福祉会

小木津聖徳保育園 緑川 広義